

稲沢市立三宅小学校 ~校長室だより~ Ensemble



アンサンブル



2024. 8. 15
No. 12

79年目の終戦の日に伝えたいこと

今日は、終戦記念日です。最近、本を読んでいて出会った言葉です。

天災には 言いようのない悲しみがあり、
人災には 言いようのない怒りがあります。

8月6日、8月9日には、広島、長崎の平和記念式典が行われました。
広島、長崎でそれぞれ平和宣言が行われました。
たくさんの人々の悲しみ、怒り、祈りを感じました。

2016年5月27日、当時の米大統領だったオバマ氏が、アメリカの現職大統領として初めて広島を訪問しました。当時の広島市長、長崎市長がそれぞれ、その広島訪問に触れ、「大統領は、自分の目と、耳と、心で感じることの大切さを世界に示した」と述べ、引き続き、世界の人々とともに核兵器のない平和な世界の実現に向けて力を尽くすことを誓っています。

「71年前の明るく晴れ渡った朝、空から死が降ってきて、世界は一変しました」という言葉から始まったオバマ元大統領のスピーチは、次のように締めくくられています。

世界はこの広島によって一変しました。しかし今日、広島の子どもたちは、平和な日々を生きています。なんと貴重なことでしょうか。この生活は、守る価値があります。それを全ての子どもたちに広げていく必要があります。この未来こそ、私たちが選択する未来です。未来において広島と長崎は、核戦争の夜明けではなく、私たちの道義的な目覚めの地として知られることでしょう。

学校は夏休みですが、今日は、どうかそれぞれに平和について考えてみてください。